



## 単元別 評価規準

### デザイン

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	形や色、言葉などを効果的に組み合わせることで、その意図や目的、情報を明確に伝えることを可能にし、人と人とのコミュニケーションを円滑にする働きがあることを理解し、表現することができる。	社会が多様化していく中で生じる様々な課題を、デザインで解決している手立てについて考えながら、見方や感じ方を深めている。	デザインによる様々な課題解決へのアプローチを理解し、見方や感じ方を深める鑑賞や創造活動に主体的に取り組もうとしている。
	習得する (わかる)	形や色、言葉などを効果的に組み合わせることで、その意図や目的、情報を明確に伝えることを可能にし、人と人とのコミュニケーションを円滑にする働きがあることを理解している。	社会が多様化していく中で生じる様々な課題を、デザインで解決している手立てについて考え、理解している。	デザインによる様々な課題解決へのアプローチを理解し、鑑賞や創作活動に取り組もうとしている。

### 作品や美術文化などの鑑賞

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	造形の要素の働きを理解しているとともに、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解し、想いを巡らせることができる。	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	美術や美術文化と豊かに関わる中で、創造性を駆使して表現された作品の、鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。
	習得する (わかる)	造形の要素の働きを理解しているとともに、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えている。	美術や美術文化と豊かに関わる中で創造性を駆使して表現された作品の鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

### 絵画・彫刻

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	意図に応じて材料や用具の特性がいかせるとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表すことができる。	読書を通して、本の内容から主題を生成しているとともに、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	絵画の表現について、自ら学び、学習活動に主体的に取り組んでいる。
	習得する (わかる)	材料や用具の特性を理解している。	表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考えている。	絵画の表現の学習活動に取り組んでいる。

### 映像メディア表現

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	映像の仕組みと特性を知り、最新技術の効果と可能性を追求し、映像技術の歴史や技術の発展と表現の関係性を理解し、創作している。	様々な技術や表現方法を考察しながら表現のよさや美しさを感じ取り、制作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	映像についての興味関心を高め、新たな映像メディアリテラシーの理解を深め、多視点から考察して主体的な意見を持ち、鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
	習得する (わかる)	映像の仕組みと特性を知り、最新技術の効果と可能性を追求し、映像技術の歴史や技術の発展と表現の関係性を理解している。	様々な技術や表現方法を考察しながら表現のよさや美しさを感じ取り、制作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考えている。	映像についての興味関心を高め、新たな映像メディアリテラシーの理解を深めている。

<b>目 標</b>	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
------------	--

### ●学習内容

1 学期	2 0 時間	2 学期	3 0 時間	3 学期	2 0 時間
・曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう 【表現・歌唱】	4	・日本や諸外国歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱しよう【表現・歌唱】	4	・ミュージカル・ナンバーを歌おう 【表現・歌唱】【鑑賞】	6
・ボディ・パーカッションに挑戦しよう 【表現・器楽】	4	・表現を工夫してギター演奏をしよう 【表現・器楽】	16	・作曲家の生涯と作品をたどろう 【鑑賞】	4
・曲の特徴を理解して歌おう 【表現・歌唱】【鑑賞】	4	・表現を工夫してヴォイス・アンサンブルをしよう 【表現・歌唱】	4	・オペラに親しみアリアに挑戦しよう 【表現・歌唱】【鑑賞】	6
・「コード進行」をもとにメロディを作ろう 【表現・創作】	4	・和楽器に親しみ、演奏に挑戦しよう 【表現・器楽】	4	・様々な器楽アンサンブルを楽しもう 【表現・器楽】	4
・音楽を形づくっている要素に注目して曲の良さや美しさを探ろう【鑑賞】	3	・世界の諸民族の音楽を知ろう 【表現・歌唱】【鑑賞】	2		
・能や謡に親しもう【表現・歌唱】【鑑賞】	1				

<b>教材</b>
<p>教科書:「MOUSA1」教育芸術社 自主作成教材(プリント)</p>

<b>授業の進め方</b>
<p>【表現・歌唱、器楽】歌唱(独唱、合唱など)、器楽(ギター、箏など)の実技では教科書、プリント教材を使用し、基礎的な技能の習得を目指します。</p> <p>【表現・創作】創作では、自分なりに音のつながりや、リズムなどの要素について考え創作する技能を学びます。</p> <p>【鑑賞】鑑賞では、音楽を聴いたり、映像を観たりするとともに、文化的・歴史的背景などについても学びます。</p> <p>表現分野では実技課題に取り組みます。学期の終わりには実技テストを実施します。</p>

### ●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度	
評価規準	活用できる (できる)	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価したりしながらよさや美しさを味わって聴いている。	・音楽の幅広い活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。 ・自らの学習状況を把握し、理解を深め、技能の向上にむけて学習しようとしている。
	習得する (わかる)	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性についておおむね理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能をおおむね身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考えている。	・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組もうとしている。
評価方法	実技テスト(歌唱、器楽)、課題提出(創作)、ワークシート(歌唱、器楽、鑑賞)	ワークシート、学習記録、演奏実技	ワークシート、学習記録、授業の取組状況	

## 単元別 評価規準

### 【表現】 歌唱・器楽

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●以下の事項について理解している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり。</li> <li>・言葉の特性と曲種に応じた発声の関わり。</li> <li>・曲想と楽器の音色や奏法との関わり。</li> <li>・様々な表現形態による歌唱・器楽表現の特徴。</li> </ul> </li> <li>●以下の技能を身に付けている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲にふさわしい発声、言葉の発音、奏法、身体の使い方。</li> <li>・他者との調和を意識して歌う、演奏する。</li> <li>・表現形態の特徴を生かして歌う、演奏する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現、器楽表現を創意工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱、器楽の学習活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> <li>・自らの学習状況を把握し、理解を深め、技能の向上にむけて学習しようとしている。</li> </ul>
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解し、技能を身に付けている。	上記の事項について、自己のイメージをもって歌唱・器楽表現をしている。	・主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組もうとしている。

### 【表現】 創作

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。</li> <li>・反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けている。</li> <li>・旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付けている。</li> <li>・音楽をかたちづくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作の学習活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> <li>・自らの学習状況を把握し、理解を深め、技能の向上にむけて学習しようとしている。</li> </ul>
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解し、技能を身に付けている。	上記の事項について、自己のイメージをもって創作表現をしている。	・主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

### 【鑑賞】

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。</li> <li>・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。</li> <li>・我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲や演奏に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</li> <li>・自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</li> <li>・音楽表現の共通性や固有性について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の学習活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> <li>・自らの学習状況を把握し、理解を深めようとしている。</li> </ul>
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解している。	上記事項についておおむね理解している。	・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

目 標	<p>音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
-----	--

●学習内容

1 学期	2 0 時間	2 学期	3 0 時間	3 学期	2 0 時間
・ヴォイス・アンサンブルを楽しもう 【表現・歌唱】	4	・表現を工夫していろいろな楽器を演奏しよう 【表現・器楽】	10	・ミュージカルを開こう 【表現・器楽・歌唱・】【鑑賞】	20
・ボディ・パーカッションに挑戦しよう 【表現・器楽】	2	・表現を工夫してヴォイス・アンサンブルをしよう 【表現・歌唱】	10		
・ギターの弾き歌いをしよう 【表現・器楽】	7	・我が国の伝統音楽や世界の諸民族の音楽を知ろう 【表現・歌唱】【鑑賞】	10		
・編曲に挑戦しよう 【表現・創作】	4				
・世界の諸民族の音楽に親しもう 【鑑賞】	3				

教材
教科書:「MOUSA2」教育芸術社 自主作成教材(プリント)

授業の進め方
<p>【表現・歌唱、器楽】歌唱(独唱、合唱など)、器楽(ギター、箏など)の実技では教科書、プリント教材を使用し、基礎的な技能の習得を目指します。</p> <p>【表現・創作】創作では、自分なりに音のつながりや、リズムなどの要素について考え創作する技能を学びます。</p> <p>【鑑賞】鑑賞では、音楽を聴いたり、映像を観たりするとともに、文化的・歴史的背景などについても学びます。</p> <p>表現分野では実技課題に取り組みます。学期の終わりには実技テストを実施します。</p>

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
活用できる (できる)	<p>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価したりしながらよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>・音楽の幅広い活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。</p> <p>・自らの学習状況を把握し、理解を深め、技能の向上にむけて学習しようとしている。</p>
習得する (わかる)	<p>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性についておおむね理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能をおおむね身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考えている。</p>	<p>・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組もうとしている。</p>
評価方法	実技テスト(歌唱、器楽)、課題提出(創作)、ワークシート(歌唱、器楽、鑑賞)	ワークシート、学習記録、演奏実技	ワークシート、学習記録、授業の取組状況

## 【表現】歌唱・器楽

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●以下の事項について理解している。</li> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞, 文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果</li> <li>・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果</li> <li>・様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性</li> <li>●以下の技能を身に付けている。</li> <li>・曲にふさわしい発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能</li> <li>・他者との調和を意識して歌う技能</li> <li>・表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能</li> </ul>	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し, それらの働きを感受しながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 自己のイメージをもって歌唱表現, 器楽表現を創意工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱, 器楽の学習活動に関心を持ち, 主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> <li>・自らの学習状況を把握し, 理解を深め, 技能の向上にむけて学習しようとしている。</li> </ul>
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解し, 技能を身に付けている。	上記の事項について, 自己のイメージをもって歌唱・器楽表現をしている。	・主体的・協働的に歌唱, 器楽の学習活動に取り組もうとしている。

## 【表現】創作

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作表現に関わる知識や技能を総合的に働かせながら, 個性豊かに創作表現を創意工夫している。</li> <li>・様々な音素材や様式, 表現形態などの特徴について, 表したいイメージと関わらせて理解している。</li> <li>・創意工夫や表現上の効果を生かした創作表現をするために必要な技能を身に付けている。</li> </ul>	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し, それらの働きを感受しながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作の学習活動に関心を持ち, 主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> <li>・自らの学習状況を把握し, 理解を深め, 技能の向上にむけて学習しようとしている。</li> </ul>
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解し, 技能を身に付けている。	上記の事項について, 自己のイメージをもって創作表現をしている。	・主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

## 【鑑賞】

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の美しさと音楽の構造との関わりについて理解している。</li> <li>・芸術としての音楽と文化的・歴史的背景, 他の芸術や文化との関わりについて理解している。</li> <li>・現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴について理解している。</li> <li>・音楽と人間の感情との関わり及び社会における音楽に関わる人々の役割について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲や演奏に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを自ら深く味わって聴いている。</li> <li>・文化や芸術としての音楽の意味や価値について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</li> <li>・音楽表現の共通性や固有性について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の学習活動に関心を持ち, 主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> <li>・自らの学習状況を把握し, 理解を深めようとしている。</li> </ul>
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解している。	上記事項についておおむね理解している。	・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

目 標	<p>器楽表現に関わる諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫することを目指す。</p> <p>(1) 曲の表現内容や様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
-----	---

●学習内容

1 学期	2 0 時間	2 学期	3 0 時間	3 学期	2 0 時間
・ボディ・パーカッションに挑戦しよう 【表現・創作】	4	・お気に入りの曲をギターで演奏しよう【表現】	6	・自分で選んだ楽器に挑戦しよう② 【表現・鑑賞】	14
・日本の伝統音楽(歌舞伎)	4	・様々な音楽を知ろう(ミュージカル) 【鑑賞】	10	・様々な器楽アンサンブルを楽しもう 【表現・鑑賞】	6
・クラシックギター(弾き歌い) 【表現・鑑賞】	12	・自分で選んだ楽器に挑戦しよう① 【表現・鑑賞】	14		

教材
<p>コーラスと信濃讃歌 愛唱歌集 自主作成教材(プリント)</p>

授業の進め方
<p>実技ではプリント教材を使用し、基礎的な技能の習得を目指します。</p> <p>創作では、自分なりに音のつながりや、リズムなどの要素について考え創作する技能を学びます。</p> <p>鑑賞では、音楽を聴いたり、映像を観たりするとともに、文化的・歴史的背景などについても学びます。</p> <p>表現分野では実技課題に取り組みます。学期の終わりには実技テストを実施します。</p>

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
活用できる (できる)	<p>・楽器の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な技能を身につけている。</p>	<p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持ち、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>・音楽の幅広い活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。</p> <p>・自らの学習状況を把握し、理解を深め、技能の向上にむけて学習しようとしている。</p>
習得する (わかる)	<p>・楽器の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性についておおむね理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能をおおむね身につけ、表現している。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考えている。</p>	<p>・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組もうとしている。</p>
評価方法	実技テスト、課題提出(創作)、ワークシート	ワークシート、学習記録、演奏実技	ワークシート、学習記録、授業の取組状況

## 単元別 評価規準

### 【表現】

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●以下の事項について理解している。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の構造や文化的・歴史的背景との関わり。</li> <li>・曲想と楽器の音色や奏法との関わり。</li> <li>・様々な表現形態による器楽表現の特徴。</li> </ul> </li> <li>●以下の技能を身に付けている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲にふさわしい奏法、身体の使い方。</li> <li>・他者との調和を意識して演奏する。</li> <li>・表現形態の特徴を生かして演奏する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器楽の学習活動に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> <li>・自らの学習状況を把握し、理解を深め、技能の向上にむけて学習しようとしている。</li> </ul>
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解し、技能を身に付けている。	上記の事項について、自己のイメージをもって器楽表現をしている。	・主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

### 【創作】

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。</li> <li>・反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けている。</li> <li>・旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくらたりする技能を身に付けている。</li> <li>・音楽をかたちづくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作の学習活動に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> <li>・自らの学習状況を把握し、理解を深め、技能の向上にむけて学習しようとしている。</li> </ul>
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解し、技能を身に付けている。	上記の事項について、自己のイメージをもって創作表現をしている。	・主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

### 【鑑賞】

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。</li> <li>・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。</li> <li>・我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲や演奏に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</li> <li>・自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</li> <li>・音楽表現の共通性や固有性について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の学習活動に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> <li>・自らの学習状況を把握し、理解を深めようとしている。</li> </ul>
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解している。	上記事項についておおむね理解している。	・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。